

2015年補てん金お支払い実績表(★未請求含む)

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	北ア 大遠見山	※ 単独 大遠見山付近で幕営中、テントが倒壊した為、警察へ救助要請を行い、ヘリにピックアップ。低体温症、指の凍傷を負った。	凍傷	¥ 329,140
1	八ヶ岳 赤岳	※ 単独 八ヶ岳連峰赤岳の地蔵尾根を下山中、地吹雪等の視界不良により道に迷い谷筋へ入ってしまう。転倒・滑落を2回。右足スネを負傷した為、携帯電話にて救助要請。	負傷	¥ 70,200
1	新潟県 かぐらスキー場	※ 道迷い 新潟県かぐらスキー場から中尾根北斜面を目指したが、積雪量が多く目的の逆の斜面に迷い込んでしまう。携帯が圏外だったため、自らの救助要請は出来ず、宿泊していた施設から警察、家族へ連絡があり捜索願いが出される。遭難発生2日後に県警ヘリにより発見、救助される。	特になし	¥ 95,306
			特になし	¥ 45,306
1	長野県 北八ヶ岳天狗岳	※ 単独 東天狗岳より黒百合ヒュッテへ下山中、視界不良により道迷いとなり雪洞・ツェルトでビバーク。携帯電話にて救助要請。翌日救助隊に付き添われ下山する。	特になし	¥ 166,559
			特になし	¥ 131,440
1	長野県白馬五竜 遠見尾根	五竜遠見スキー場駐車後、行方不明。山スキー中に雪崩に巻き込まれたと思われる。	死亡	¥ 1,393,738 ★
			死亡	¥ 947,814 ★
			死亡	¥ 736,470 ★
1	新潟県 赤倉観光 リゾートスキー場 前山	※ 単独 遭難翌日スキー場のホテル第5 高速クワッド降り場から約 250m 上方の東山東側斜面の沢にて雪に埋もれ、スキーをはいていない状態で発見される。雪崩に巻き込まれ死亡したとみられる。スキー場まで一緒に来ていた同行者が夕方になっても戻らないことを心配し救助要請。	死亡	¥ 754,120
2	奥神鍋スキー場	スノーボード滑降中、立木に衝突。左肋骨複数本と右足の大腿骨を骨折。	負傷	¥ 50,000 ★
2	北ア 白沢天狗山	長野県白沢天狗尾根北方斜面にて山スキー中雪崩に巻き込まれ、立ち木にぶつかり即死だった模様。同行者により救助要請。天候悪化の為、捜索活動が難航し事故発生2日後に発見、防災ヘリにて収容。	死亡	¥ 264,454
2	北ア 乗鞍岳	※ 単独・道迷い 視界不良により一度撤退を決めるが、偶然現在位置が判明した為、登山を続ける。その後、下山中に樹林帯で道を誤り、谷筋に迷い込んでしまい救助要請。携帯電話の GPS 情報を警察が把握し、合流地点を指示され合流。救助隊が付き添い下山。	特になし	¥ 49,260
3	群馬県 妙義山星穴岳	※ 滑落 妙義山星穴岳を登山中、星穴岳手前の岩峰にて休憩しようとして滑落。同行者が携帯電話で救助要請。事故発生1時間30分後にヘリにて救助。	負傷	¥ 190,908
4	南ア 甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根	※ 滑落 山梨県警のヘリコプターが、8合目の登山道から数百メートル下の沢で男女2人が倒れているのを発見した。ヘリに収容し、ふもとに運んだが死亡が確認された。現場付近は雪が残っており、県警は、2人が一緒に登山中、滑落したとみている。パーティー全員が亡くなった為、詳細は不明。	死亡	¥ 250,000 ★
5	北ア 前穂高岳	前穂高岳北尾根上4峰登はん中に落石を受け4名パーティー中、1名負傷、1名は120Mほど滑落死亡。涸沢ヒュッテ経由で警察へ救助要請。ヘリにて松本の病院へ搬送される。	負傷	¥ 83,250
			死亡	¥ 225,000
6	大雪山系旭岳	※ 道迷い 下山中にガスと強風の中、2人パーティーが別れてしまう。目視も出来ず、声も届かない為、同行者、遭難者から別々に警察へ救助要請。同行者は警察からの指示により自力下山。翌日自衛隊により金庫岩から地獄谷へ降りてしまった遭難者を双眼鏡で発見。警察経由でヘリへ情報を伝え、ヘリにてピックアップ。	特になし	¥ 336,768
7	富山県雲ノ平 高高原大東新道 A沢とB沢の間	二人パーティーの先頭で歩いている最中、大きな岩に足を置いた瞬間滑り、バランスを崩し、黒部川に滑落する。その際右肩脱臼し歩行困難となる。動けない為、通りかかった登山者に付近山小屋へ救助を依頼。山小屋経由で県警へ救助要請連絡、ヘリにて病院へ搬送される。	負傷	¥ 8,045
7	北ア 西穂高岳	※ 単独・滑落 西穂高岳にて100Mほど滑落。遭難発生日(推測)から4日後に県警ヘリが沢にて発見、収容される。単独のため詳細不明。	死亡	¥ 237,896
8	鳥海山	※ 病気 登山仲間と計8人で午前7時ころ、秋田県にかほ市の銚立口から入山。頂上まで約300メートル地点で突然、意識を失った。防災ヘリと県警ヘリが救助に向ったが、悪天候による視界不良で断念。消防署員と酒田署員が救助に向かい、通報から約5時間後に合流し、地上で搬送。心肺停止だった。	死亡	¥ 250,000 ★
8	山梨県大菩薩嶺 滝子山 大鹿沢スミ沢	※ 滑落 2人パーティーで大鹿沢スミ沢野を遡行中、同行者が大滝(トイ状)を先にフリーで登ったが危険を感じた為、ロープで確保しようと思ひ声や手ぶりで合図をするが、既に登り始めていた。急遽上からロープを投げて確保。ロープを手繰りながら登り、傾斜が落ち着いた場所でテラスに移ろうとしたとき足を滑らせて滝を滑落。現場に居合わせた別パーティーが救助に駆けつけ、救助要請。	死亡	¥ 220,710

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
8	北ア 大天井岳	※ 単独・道迷い 大天井ヒュッテへ向かう途中、切通岩付近にて◎印を確認しその岩から直上する。そのうちにルートがなくなり降りることも難しく、登山道を求めハイマツをつかみながら登るが道が見つからず道迷いと判断。17:00 を過ぎておりこれ以上の行動は危険と判断し、救助要請を行う。大天井ヒュッテより2名が救助に向かいロープで確保しながら付き添いで下山。	特になし	¥85,196
8	秋田県 小又峡	※ 滑落 北穂高岳から上高地へ下山中にパーティーとはぐれる。4日後の午前、南陵南側斜面にて死亡しているのを県警が発見。	死亡	¥247,066
8	南ア 鳳凰三山 白鳳峠	※ 滑落 姉と白鳳峠に登山中、道が分からなくなり下山していたところ、足を滑らせて滑落・死亡。同行者は翌日に自力で下山し、警察と消防が遺体を収容した。	死亡	¥500,000★
8	北ア 白馬岳	樽池から白馬岳へ向かう途中、登山道の木の根っこに足をとられ転倒、右ひざを強打。	負傷	¥450,000★
8	北ア 燕岳	燕岳から中房温泉へ下山中、富士見ベンチ手前にて転倒した際に足首脱臼骨折する。山岳救助隊・県警により人力担ぎで中房温泉まで、そこから救急車で病院まで搬送。	負傷	¥147,434
9	北ア 奥穂高岳	※ 単独・道迷い 雨、風、霧が濃く、道に迷い、救助要請。	不明	¥400,000★
9	北ア 横尾～涸沢	※ 病気 横尾～涸沢間を登山中に脱水症状による意識混濁状態となり、救助要請。	特になし	¥43,735
9	北ア 双六岳	双六小屋近くで足を滑らせ転倒。ねん挫する。歩くのが困難な状況だったが自力で下の小屋まで行く。小屋からは先は歩けそうにない為、県警へ救助要請を行い、ヘリにて救助された。	負傷	¥300,000★
9	新潟県 鳥甲山	下山中に転倒し、さらに夜12時に懐中電灯の電池が切れ道が見えなくなり屋敷登山口から200M程のところまでビバーク。	負傷	¥200,000★
10	長野県 八ヶ岳大同心	※ 滑落 大同心上部登攀中に滑落、同行者に助けられて、硫黄岳山荘泊。翌朝、県警ヘリに収容され、富士見町の病院に入院。	負傷	¥250,000★
10	鳥海山	※ 単独・道迷い 山頂から滝ノ小屋へ下山道が不明瞭だったため、踏み跡の多い下山道を目的の道と間違え下山開始。途中、間違いに気付き南西方面へ正しい下山道を求めてトラバースするが日没が近づいた為、岩の間でビバーク。翌日6時より行動を開始、現在地を確認、北面にいる事が判明した為、山頂へ向かい登り返しをするが2時間ほどで行動が困難となり救助要請。消防ヘリにてピックアップ。	特になし	¥4,340
10	北ア 北穂高岳	※ 単独・滑落 A沢コル飛驒泣き付近にて滑落。付近登山者により救助要請。消防防災ヘリで収容されたが、病院で死亡が確認された。	死亡	¥224,197
10	静岡県 愛鷹山袴腰岳	※ 単独・道迷い 下山道を間違え谷を下降してしまう。間違いに気付いた時は登り返す体力がなくなっていたので谷筋を下る。その際負傷し岩陰でビバーク。翌日前日のケガにより行動不能と判断し、メールで配偶者へ救助要請を依頼。その後、歩けるようになり下山路を模索中にメールで捜索隊が救助へ向かった連絡が届き、下流へ移動。12:30頃警察から依頼を受けた地元山岳会と合流し登山口まで下山。救急車で病院まで搬送。	負傷	¥150,000★
10	北ア 涸沢岳	ザイデングラード下山中、かかとが岩に挟まり、そのまま右足を出したところ足首に痛みが走るが涸沢ヒュッテまで自力下山。翌朝歩行不能となり救助要請。	負傷	¥300,000★
総額 (11/9 現在)【支払済+★未請求(見込)額】				A ¥10,138,352
推計値 (11/9 現在未報告案件及び11/10以降発生案件に対応するため 下記参照)				B ¥16,500,000
2015 事後分担金算出の基礎数字 (事後分担金計算式の分子) A+B				C ¥26,638,352
2015 会員総数 (11/9 現在のエラー無会員総数)				D 53,279名
2015 事後分担金 C÷D= ¥499.98 (端数切り上げ)				E ¥500
<p>◎推計値(B欄 ¥16,500,000円)の算出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般的に12月の遭難件数は他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。過去においても2014年は3件、2013年は4件、12年は2件4名、2009年は2件、2008年12月は3件のカバレッジ対象となる遭難事故が発生しています。(2011年には発生はありませんでした) 2012年の場合は、長期にわたる捜索活動が実施されました。また過去12月にはほぼ満額のカバレッジの支払いもあります。 ●jRO会員数は2009年末の会員数約1万명에比べて、本年度は5.3倍(約5.3万名)となり、事故件数はそのまま5.3倍とはなることはないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。 ●また、遭難事故の発生からその通知まで約1カ月以上かかるケースが多く、また11月までの未報告案件のあることも考慮する必要があります。 ●B欄1,650万円という推計値はjROの規約による補てん金上限(330万円)の支払が起きた場合には、5名分の金額になり、前記のような過去の経験値を勘案し算出したしました。 ●2015年の補てん金額が確定されるのは2016年11月を予定しております。 ●算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。 ●次ページに2014年度補てん金お支払い実績表(確定)を掲出いたしました。 				